

国立大学法人島根大学役員会（第372回）＜議事要録＞

日 時 令和3年11月15日（月） 14:00 ～ 14:40
場 所 本部棟3階 特別会議室（TEAMS 利用）
出席者 服部学長，藤田理事，肥後理事，大谷理事，椎名理事，長澤理事，上野理事
オブザーバー 千家監事，栗原監事
欠席者 宮脇理事
〔陪席：企画部長，教育・学生支援部長，総務部長，財務部長，医学部事務部長
自然科学系事務部長，監査室長〕

議題1 令和3年度人事院勧告に基づく職員給与規程等の一部改正について

- 藤田理事から令和3年度人事院勧告に基づく職員給与規程等の一部改正について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議題2 公的研究費等の不正使用の防止に関する規則の一部改正について

- 長澤理事から公的研究費等の不正使用の防止に関する規則の一部改正について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議題3 研究不正防止対策本部規程の一部改正について

- 大谷理事から研究不正防止対策本部規程の一部改正について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議題4 一般社団法人中国地域ニュービジネス協議会との包括的連携に関する協定書の締結について

- 大谷理事から一般社団法人中国地域ニュービジネス協議会との包括的連携に関する協定書の締結について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議題5 コンプライアンス推進宣言（案）について

- 藤田理事からコンプライアンス推進宣言（案）について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

協議事項1 定期モニタリングの実施について（研究費の不正使用防止体制）

- 長澤理事から定期モニタリングの実施について（研究費の不正使用防止体制）説明があった。
- 服部学長から，不正使用防止計画の形骸化を防ぐための実質的な啓発活動や教職員の意識向上等への対策について確認があった。長澤理事から，各部局の不正使用防止の実施計画を見ると形骸化等が懸念される部分もあるため，今回の規則改正に伴い各部局の実施計画を見直してもらう過程で調査をしていく必要があると考えているとの回答があり，服部学長から，部局長自らが意識の徹底を図る形で取り組んで欲しいとの意見があった。
- 千家監事から，他大学において教員からの問合せに対応する体制に問題があり，教員が適切な手続が分からなかったために誤った処理を行い，そこから不正に繋がったという話も聞いているため，教員からの問合せに適切に対応できる相談窓口や相談担当者等の体制の充実が必要との意見があり，続いて服部学長から，教員が学部事務に問い合わせた時に適切に対応できるよう，学部事務と本部の担当者間の知識の共有が重要となるのではない

かとの意見があった。長澤理事から各部局での対応の際に、対応者によって異なる解釈で教員に伝わってしまうと不正に繋がる可能性があるため、学部事務一元化と併せて対応を統一化できるようにしたいとの発言があった。

- 藤田理事から、今回に限らず内部統制報告書全般について、担当理事として事前確認を行う際に、課題に対する改善の取組状況や今後の計画等について、実施時期の記載がない場合が見受けられるため、改善の取組や計画を明確に意識するためにも、実施時期は具体的に記録して欲しいとの発言があった。

報告事項1 統合報告書2021について

- 藤田理事から統合報告書2021について報告があった。

報告事項2 令和4年度医学部入学定員増員計画について

- 肥後理事から令和4年度医学部入学定員増員計画について報告があった。

報告事項3 令和3年度予算における留保解除について

- 長澤理事から令和3年度予算における留保解除について報告があった。

報告事項4 国立大学法人等における剰余金の翌事業年度への繰越しに係る承認について

- 長澤理事から国立大学法人等における剰余金の翌事業年度への繰越しに係る承認について報告があった。

報告事項5 附属病院運営状況について

- 椎名理事から附属病院運営状況について報告があった。

- ・ 上野理事から、統合報告書を見ると SDGs やカーボンニュートラルに繋がる興味深い研究が行われており、このような研究活動について積極的に取り上げて情報発信して欲しいとの意見があった。